

新型コロナウイルス緊急支援募金第1期 目標金額達成!!

ご支援ありがとうございました!

新型コロナウイルス緊急支援募金第1期 中間報告 (2020年6月26日現在)

国内支援

2020年4月30日から実施している新型コロナウイルス緊急支援募金第1期の国内アジア人留学生支援は、第1期支援の対象としていました、30名の留学生に支援金を給付することができました。皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

支援を求める留学生からの不安の声 (一部抜粋)

コロナウイルスの影響で、外に出るのが怖く、アルバイトを探すことができません。お金を節約するために、食事は1日1食だけです。

中国留学生

アルバイトできないので、家賃と学費を払うことが難しいです。

インドネシア留学生

留学生との面接(オンラインと併用にて)を行い、新型コロナウイルスの影響や生活状況、母国の状況等を聞くと同時に、彼らが抱えている不安の声も聞こえてきました。また身近に相談できる人や環境がなく、留学生は日本での生活にとっても不安を抱えています。

皆様から頂いたご寄付が留学生の生活費の一部となり、日々の食費や家賃などに充てることができ、とても助かっているという声が留学生から続々と届いています。収入の確保が未だ不安定な状況にある留学生にとって、皆様からの支援金は留学生活の支えとなり、彼らが抱えている不安の解消にも繋がりました。

留学生からの感謝の声 (お礼の手紙より一部抜粋)

皆様のおかげで
今月の家賃を払うことができ
ます。本当に感謝しています。

ベトナム留学生

支援金は家賃、公共料金な
どに充てたいです。本当に
ありがとうございました。

バングラデシュ留学生

大学に通っているが、留学生
へのサポートはありません。
でも、JAFSを通して支援金
を受け取ることができ、とても
助かりました。

中国留学生

皆様のご心配くださっているお気持ちは、留学生にも届いており、JAFSの支援者皆様の心のあたたかさを深く感じております。

また、留学生への支援が毎日新聞(2020年6月5日)にも掲載されました。

困窮留学生を支援

アジア友の会が募金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、アルバイトができなくなったり、仕送りが止まったりして困窮する留

生を助けようと、NGOアジア協会アジア友の会(大阪市西区)が寄付金を募って支援する取り組みを始めた。最初に対象になった留学生4人にこのほど、支援金が贈られた一写真。

対象になったのはバングラデシュから留学している日本語学校生と専門学



校生の計4人。同会で1日にあった贈呈式では、藤原正昭常任理事が「少しでも生活が楽になり、勉強に励めるように祈っています」と話し、それぞれに3万円を手渡した。受け取った専門学校生のカン・アシアドナンさん(31)＝神戸市東灘区＝は、4月中旬か

ら飲食店でのアルバイトが無くなったといい「助かります。受け取ったお金は家賃に充てたい」と笑顔を見せた。アジア協会アジア友の会は今後、アジア各国からの留学生に同様の支援を行うという。問い合わせは同会(06-6444-0587)。

【華山雄大】

市内

(裏面に海外支援)

海外支援

アジアの現地提携団体から新型コロナウイルス緊急支援の要請が 4 月より届いていました。それに伴い、JAFS では皆様から頂いたご寄付を通して、現地提携団体協力の下、支援を行いました。



医療用品の配布と共に、感染症の予防や対策を呼びかける衛生教育の教材及びポスター制作中（ネパール、提携団体 AFS-Nepal）



住民への食糧緊急配布が現地政府から評価され、感謝状をいただきました。（インド、マハラシュトラ州、提携団体 HDSI）



生活が困窮している家庭への食糧支援を実施しました。（インド、マハラシュトラ州、提携団体 RUDYA）



子どもたちに衛生用品配布しました。（バングラデシュ、提携団体 BDP）

アジア各国では、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあります。新たに支援要請が来ており、油断できない状況が続いています。ショックなニュースとしては、新型コロナウイルス感染死者よりもロックダウン対策などによる生活苦で自殺者が増加しています。

これから夏季募金として新型コロナウイルス募金第 2 期支援（7 月 1 日～9 月 30 日）を実施致します。引き続き皆様のご協力よろしくお願いたします。

（表面に国内支援）